

歐洲鐵鋼業統制組織の近況

(昭和5年3月29日日本鐵鋼協會第15回總會に於て講演)

鈴木武志

○會長(服部漸君) それでは歐洲鐵鋼業統制組織の近況と云ふ題で鈴木武志君に御講演を願ひます……………[拍手起る]……………

服部さんからの御頼みで御引受は致しましたものゝ、多數先輩の皆様方に御話申上げると云ふことは非常に光榮でありますと共に又甚だ恐縮に存じて居る次第であります。私共の手許に於きまして平常から特別の人を置きまして歐羅巴其他日本のマーケットに直接關係ある凡ゆる方面の取調を致さして置きましたことの最近までの概況を一互り御話申上げやうかと存じて居ります。

1. 戦後に於ける合同運動の跳躍的發展

歐洲に於きます鐵鋼業統制組織の近況と申しましたが、其は私が昨年一廻り歐米各地を駆け足で廻つて参りました時にざつと見て参りましたものを基礎として、其後に於ける電報新聞雜誌……さう云ふものから寄集めて出來た一つの取調なのでありますから、其大綱に於ては間違なからうとは考へて居りますが、細かい所に至りますと或は若干の誤謬が無いとも限りませぬ、其點は豫め御承知置きを願ひたいと存じます。

歐羅巴の鐵鋼業をマネジメントの方面から見ると、就中私共製品の販賣に當つて居る者の眼から眺めますと、歐羅巴各國に於ける鐵鋼業は歐洲大戰後、殊に最近に至りまして甚だ進歩した、進歩したと申しませうか、最近の言葉で申しますと所謂合理化せられたとでも申しませうか、一つの系統立つた統制の下に整然と動いて居るやうに考へられます。獨逸、白耳義、ルクセンブルグ、或は佛蘭西等、あの邊一帶に黒煙を上げて居ります幾多の工場、幾多の會社は、雜然と散在してゐるにも拘らず其海外に向つてする輸出並に國內に向つてする販賣及び其輸出の取引なり國內販賣の取引なりを基調とする各工場の生産計畫と云ふやうなものが一つの目的と極めて組織立てられたる一つの系統の下に編み込まれて居るやうでございます。總じて歐洲大戰後彼等が、就中大陸に於きます各工場が戦亂の巻に相見えまして殆ど壊滅に歸した狀況から僅か10年も経たない間にすっかり復興に向つて行つたのみならず、其復興を完成して更に後の5箇年間には戦時中英吉利、亞米利加に依つて獨占せられました……侵略せられたる世界の領土を悉く奪還し、英吉利の如きは既に其の本國をだに守り得ずして、數百年來の自由貿易主義の祖國に關稅論を聽くやうな状態にまで押詰められてきた譯であります。

組織立てられたる一つの統制組織と申しましたが、其は要するに製品の賣價の維持或は生産能率の増進と云ふ所謂日本に最近流行り出しました合理化と云ふ言葉に含ましめらるゝ意味を目標とする大

同團結の完成であります。

而して彼等の形造りました統制組織は假に之を大別いたしますならば、國內的のもの……各國が各々政治的領域を目標とする各國國內に於ける統制組織と、さうして形造られたる所の國內統制機關相互の國際的統制施設とに大別することが出来るやうであります。

2. 各國に於ける合同運動の實情

A. 獨逸　そこで先づ初に各國に於ける國內統制組織の大要を各國別に申上げて見ますならば、一番手近な所獨逸の話から申上げますと——比較的獨逸の話は日本には相當廣い範圍まで紹介されて居りまして既にもう皆様御承知のことゝ存じますが——其大要を申上げますならば、戦後の復興……彼等の立場から見た復興計畫の第一段としてなされましたのが所謂企業のコンツェルン化であります、即國內に雜然と存在してゐた幾多群小の諸工場間に漸時統一作用が行はれまして、資本の合同に依り小さい工場會社が大きい工場會社に併呑され、或は小さい會社同士が相集つて一つの大きな企業會社に形を直して行くと云ふやうに、企業を主體としての大同團結が隨所に行はれた結果、獨逸國內を通じて、あれ程多くの工場があるにも拘らず、今日所謂鐵會社として一の經營主體として存在するものは國內に15か20しか無い、そこまで此コンツェルン化を徹底せしめて行つたのであります。

それから第2段の仕事と致しましては、斯くの如き收約作用に依つて一つの強い大きな工場會社となりましたものが更にそこに組合を組織し、其組合の中央機關として私の言葉で所謂獨逸鐵鋼聯合會と申します一つの強力なる上層組織を作り、それを會社組織に致しまして此の中央統一機關に依つて國內に於ける製品販賣は無論のこと、其製品販賣を基調とする工場作業の加盟權をすつかり掌握してしまつたのであります。今日獨逸國內に這入つて來る、或は國內に生ずる注文の總ては丸棒の1本線材の1捲と雖も必ず其手を一遍は通過しなければならない。随つて其組合の青テーブルの上から出た注文でなければ如何なる工場でも作業しない、そこまで申上げて決して間違ないやうな程度にまで統制を仕組み上げてしまつたのであります。之を假令て見れば各コンツェルンを成して居ります工場を、昔の獨逸の各聯邦と致しますならば、其は將に普魯西王國であり、然而して獨逸皇帝である。獨逸帝國に類する其機關の働きと云ふものは非常に徹底して居りまして、各工場へ日本からバー1,000噸の注文が行つたとすれば、各工場は其を中央機關である聯合會に移す、従つて總ての注文は聯合會の棒鋼部長の手許にすつかり集つてしまふ、世界各國のどこから來た注文でありましても、國內のどこから來た注文でありましても總てデュツセルドルフの一つの青テーブルの上に集つてしまふ、そこで棒鋼部長は日本から來た注文は積出しを漢堡からするから漢堡に近い工場にやる、露西亞から來たやつは東の方にやる、伊太利向はチェツコの方へやる、さう云ふことを全然自分一人で決めてしまひます、此に依つて我々の所謂生産分野がしらすしらすなし遂げられてゐるのであります。即ち總ての注文が一つのテーブルに集まるから、其集つた内の3吋のものは或工場にすつかりやつてしまふ。4吋のものは別の或工場にやつてしまふ、5吋のものは又別の或工場にやつてしまふと云ふことが出来ます

から、我々が具體的に生産分野の協定、製品の單純化、單種多産とか、色々な言葉に於て取扱つて居りまする生産の合理化なるものが唯一の事に依つて全部遂行せられて居る譯であります、之を要するに鐵鋼聯合會は各製品別に各部門に分たれ、各コンツェルンに割當つべき鋼塊の生産數量、各種製品の販賣數量並に販賣價格を決定し獨逸國內市場を統制する一大組織でありまして、外部から眺めました獨逸國內の鐵鋼業單一なる會社の經營の下に動いてゐると觀念して少しも間違ないのであります、隨つて先程申上げました線材の1捲、丸棒の1本と雖も此統制を餘所にしてなさるゝことは決してないのであります、各機械類或は特殊の規格品、さう云ふものであつて、是非共シーメンス或はクルツプの物でなければいかぬと云ふ我儘な御客さんであれば別であります、大體都合の付きます限りは全部中央機關が握りまして國內の統制の全部をやつて居る譯であります、でありますから、斯かる組織を作つた初の目的は、或は各會社が賣崩しをする、海外との競争をすることを防止する爲に出來たのであります、最近の傾向と致しましては寧ろ賣價の維持と云ふことより進んで運賃の輕減、間接經費の輕減、單種多産、規格の統一、生産並に販賣の地方的分野の確立等生産費の節約に役立てられてゐるのであります。此の統制組織の下に今日の獨逸國內市場は殆どもう極端まで調整せられましてバーに付きましてもルールに付きましても此處 2, 3 年國內相場は一マークも違はない、日本で云へば專賣局の煙草の値段と同じ、殆ど變つて居らぬと申上げて宜しい、それも唯單に中央にそれだけの統制機關を設けて其統制の下にするに非れば生産もせず販賣もせずと云ふことを行つた結果であるやうであります。

B. 白耳義 獨逸の場合は斯る統制組織を形造りました最も典型的な場合であります、白耳義に參りますと其點は餘程ルーズになつて參ります、白耳義には日本の南北朝時代のやうに互に對立したる2個の國內的統制機關があります、一つはウグレー會社を中心とする團體で、他は其の以外の工場を一團體としてプロビデンス會社が卒ひる大同團結であります、就中プロビデンス組合の下にあるアウトサイダーと云ふものは世界的低氣壓の發生地帯でありまして日本の石垣島であります、其の間何等の協定もなく群小相鼎立して盛に賣崩しをする、世界唯一の鋼材のマーケットもブラツセルに於て見ると云ふやうな譯でありまして、從來でも唯それだけの統制が取れなかつた爲に此 2, 3 年の間に於ける2度の暴落、2度の上げ足の原因も悉く白耳義のプロビデンス組合の連中の統制が取れなかつたと云ふ點が中心點をなして居るやうでございます、併し最近に於きましては是等が國內的の注文配分事務所と云ふものを設立いたしまして、先月頃から其活動を開始して居るやうであります、此の事に付いては後程申上げる機會あらうと思ひますが、要するに白耳義に於て相對立するウグレー、プロビダンス兩組合が國內に於ける統一機關を造つて出來ましたのが注文配分事務所でございます。

C. ルクセンブルグ、ルクセンブルグは例のホルメタでありまして、是はルクセンブルグにありまする2大コンサーンの總エイゼントであり、其工場作業の加盟權を持つて居りまする一つの販賣會社であります、ルクセンブルグの國內にありまする他國の資本に依る會社を除くの外は悉くホルメタの

統制組織の下に服して居りまして、其行はれて居ります作用は丁度獨逸に於けるフェルバントの場合と同じこととございます、ルクセンブルグは御承知の通り日本の山梨縣よりも小さな國で、人口僅に25萬に過ぎませぬが、鐵の國產年額250萬噸、1人當り10噸の鐵を造つて居る勘定であります、而もコルメタの統制の下に日本に向つてなす販賣の敏捷活潑にして底力のある、我々の最も苦手とする所であります。

D. 佛蘭西 次に佛蘭西を見ますと、是も亦同じことで其統制機關として、佛蘭西組合が控えて居ります、矢張り佛蘭西にも澤山の群小工場がありまして、コンツェルン化の程度に於きましては獨逸の其れに及ぶべくもありませんが、各工場間の統制に付きましては限られたる製品の範圍内に於きましては其團結が非常に鞏固でありまして、會社たる佛蘭西組合の手を経由するに非ずんば我々は1噸も買へないと云ふやうな仕組になつて居ります。

E. 英國 斯くの如く獨逸に於ても白耳義に於ても、將又佛蘭西に付きましても國內にどれ程の工場會社があらうとも、是等の全體を統一する販賣會社がありまして、此中央機關が統制に屬するものに付いては例へば線材の1捲、丸棒の1本と雖も餘すことなく一面國內に出来る所の製品の全部の買方に立ち、他面外部に向つて全部の賣りに立つことに於て全く同様であります。たゞ統制範圍の廣狹の差あるのみ、獨逸に就きましては最近薄板組合が出来まして愈々全部の製品に付て此の統制が行はれる様になりましたが佛蘭西に於ては半製品、工形鋼以外には軌條、線材等國際協定の目的たる品種に就いて國內を統一して全佛國を代表する組合が存在する許りであります。

兎も角も斯う云ふやうな組織が大陸には早くから出来て居つたのですが、英吉利はずつと遅れまして、まだはつきり申上げるまでにもなつて居らぬ。たゞ見るべきものとしては、南ウェールズ鐵力板組合と黒薄板組合の外には英吉利輸出組合と云ふものがありまして、輸出市場の獲得保持につとめてゐるだけであります。是は初は英吉利の本國を、サウスウェールズ、スコットランド、ノースイースト、イングランドの4つに分けて各地方に注文配分事務所を設け、更にそれを統轄するものを倫敦に置いて海外から來る注文をすつかりそこへ集めて振分けて行くと云ふことをやつて居つたやうですが、最近4つの地方の郡制を廢止して中央に纏めたやうでございます、纏めてから大變仕事が仕易くなつたと云ふ話でございます、此組合は自分が英吉利國に向つて全部買方の地位に立つと云ふやうな譯でありませぬ。販賣會社でもなければ何でもなし、唯そこで注文をすつかり集めて、さうして注文の相手方を誰であるか決めて行く、詰り買方と各工場を接近せしめ個別の契約は兩者の自由取引に任せると云ふ組織の下にあるやうであります。

3. 國際組合と國際的協定

以上は國別に申上げたのでありますが、之を一層分り易くする爲に今度は製品別に申上げて参りますとはつきり分ります。

製品別になつて参りますと私の先程申上げました第2段のことになるのであります、上來述べ來つ

た所に依つて知らるゝ如く各國には夫々統制機關が存在して、其の統制範圍に屬する品目に付きましては全くそれより外に賣方が無いのでありますから、要するに歐羅巴には賣り手が5人しか無い、製造工場が5つしか無いのだと考へても大した間違が無いのであります。さう云ふ統制組織の下に彼等は國家的に自分の法權の及ぶ範圍内に於きまして完全なる工業帝國を建設しました、それで建設いたしました工業帝國は更に海外領土の伸張と云ふことに頭を向け、前後數年ならずして世界中を瞬く間に席捲してしまつた譯であります。此5つの團體が到る處世界の隨處に商業戰、商權爭奪戰を展開し、日本の如きは其最も混戰地でありましたのですが、戦つて戦つて戦ひ疲れて遂に此5箇國の間に休戰條約が締結せらるゝに至つたのであります。此こそ不戰條約であり、華盛頓會議にも比すべき國際協定でありまして、各品目に付き價格の維持と領土の分割とに關する國際協定が出来たのであります。

A. 軌條 先づ一番見安いのはレールであります、レールに付きましては所謂イルマ・インターナショナル・レールメーカー・アソシエーションと云ふ統制組織があります、其は早くから歐羅巴諸國の間に存在してゐたのであります。最近亞米利加まで引入れて、白人が構成する國家全體がもう一つの統制の下に服してしまひました、それで世界中で此イルマのアウトサイダーと申しますのは八幡製鐵所の外一二あるだけで、日本の内地、滿洲、支那等東洋を舞臺とするイルマ對八幡製鐵所の商權爭奪戰は今や白熱化してゐる最中でございます。扱てイルマに加盟してゐる國を代表する組織としては獨逸の場合は先程申しました鐵鋼聯合會が全國のレールメーカーを全網羅して參加し、白耳義に付きましては Ougrée Marihay Group の統一機關たる Socobelge と providance Group の統一機關たる Comptoir des Acieries Belges とが對立してゐること前述の如くであるが、此の場合にも各自別々の名に於てイルマの會員となつて居ります、而して此中に這入つて居る、ルクセンブルグはコルメタ、佛蘭西は佛蘭西組合、それから英吉利は先程申上げた輸出組合でございます、亞米利加に付きましてはユー・エス・コンサーンとベスレ・ヘム・コンサーンの組織しました亞米利加輸出組合が少數のアウトサイダーを残して之に參加して居ります。而して此の組合は倫敦に中央事務所を持つて居りまして、總ての生産販賣の統制をやる譯でございます。今例へば日本からどこかのレール1萬噸と云ふ注文が出たといたしませう、こんな内情を知らない我々は、亞米利加は高いだらう、佛蘭西は安いだらうと言つて要らない電報料を澤山使つて方々へ引合を出しますと、引合を受けた各々の工場はそれぞれの筋を経て皆倫敦の青テーブルの上に送ります、さうすると是等の國々の間には初から割當が決つて居りまして、此割當に應じて倫敦の事務所は適宜引合を各國に振り當てます。そして例へば其の引合が獨逸の鐵鋼聯合會に割當てられたとすると、あとの連中は全部値段を出さない、然らずんば突拍子もない高い相場を出して知らぬ顔をして居ますから自然に此1人に決まります。是が亞米利加に行つた場合も同様どんな注文を出してやりましても世界の何れかの國の何れかの工場が唯一つ相手方になるだけでありまして、其外には競争者と云ふものは絶對に出て來ないのであります、是は嘘でも何でも無い、

こゝから注文一つ出して見れば宜い、さうすれば今度は亞米利加に行つた、亞米利加のベツレヘムへ行つた、今度は獨逸に行つた、獨逸の如きはジュツセルドルフの總事務所です勝手に決めてしまふ、さうして注文を取つてから後に是はクルツプにやれ、どこにやれと命令する、佛蘭西の場合も其と同じ、たゞ英吉利の場合は輸出組合でありまして、販賣會社ではありませぬから、賣買の中に介入することはない。英吉利に割當てられたと云ふ場合は此中央事務所が更に特定の工場を指定して其工場にやらせませぬ、斯う云ふ大きな組織のアウトサイダーが斯く申す八幡製鐵所であるのであります、我々は國內だけでさへもなかなか協調が取れなくて騒いで居る今日、彼等は世界を股に掛けて先進國が後進國の幼稚なもの……大部分黒ん坊相手の商賣であります、黒ん坊を相手にして斯う云ふ大同團結をやる恐るべきものであります。

B. 線材 其次は線材ですが、線材は英吉利にはありませぬ、少くとも敢て問題にするには足らぬのであります、亞米利加はユー・エスとベツレヘムを中心とする若干のものがありまして、日本の唯一の相手方、それから獨逸、白耳義、ルクセンブルグ、佛蘭西、これだけが一つになつて居りまして、大陸のシンジゲートを造つて居ります、是が所謂大陸線材組合であります、でありますから、線材に付きましては大陸に一つ、亞米利加に一つ、と考へて宜敷のであります。そして此二つの間には餘り協調が無いやうであります、元來日本は彼等の線材の需要國としては世界一の名譽を擔ふものでありまして、どこへ行きますしても日本向が彼等の作業の5%乃至60%を成して居りますから此の組合と云ふものは全く日本と云ふ領土、日本に對する商權の維持伸張の爲に、詰り日本人に高く買はして彼等の工場を維持する税金を取立てると云ふことの爲に出來た組合と見て差支ないのであります、此大陸線材組合は獨逸に付ては斯の獨逸鐵鋼聯合會の分身であり、其の一部門と見ても宜しい獨逸線材聯合會が全獨逸を代表して參加し、ルクセンブルグはコルメタ組合が、佛蘭西は佛蘭西鐵鋼組合が夫々國內の全線材工場を卒ひて會員となり白耳義に付ては軌條の場合と異なり、特にウグレーが全白耳義を代表して列して居る。即ち大陸線材組合は此の4ヶ國の國內統一機關に依つて形成せらるゝ上層組織でありまして此4團體は更に其下に全國內工場を従がへて居る譯であります、それで4箇國の間にはちやんと割當が極めて居りまして、イルマの場合よりは少しルーズなやうであります、日本向の如きは値段を協定して決して引かない、時には1ミル位或國が安く出すやうなこともあります、こちらでは大いに値切つてやつた積りでも實は向うでは、御前の方は少し足らぬやうだから御前の方で少し値引してやれと云ふやうな話合になつて居るのであります、此組合は非常に圓滿なものであります、私が向うに行つて居る間の如きも、例へば運賃が5シル下がりましたが、どうせ日本は買はないから下がつただけこつちを上げてしまへと云ふので、船會社の發表の翌日ばつと協定値段を上げてしまつた、さう云ふことは協定があるから直ぐ出來るのであります、又日本には同じロツドを使ふなら獨逸品が良いと云ふ評判があるともう獨逸品々々々と言つて皆獨逸へ注文を出す、従つて佛蘭西品の賣行が悪くストツクが山の様に出來る、さうすると忽ち獨逸の聯合會は今後2箇月間ワイヤ

ロードは賣止めだと言ふ、いやでも應でも佛蘭西の方へ廻ることになります、最近にも之に類似したことをやつて居ります、是等の如きは全く世界の領土を是等の4箇國が或 % に依つて分けて取つて居ると云ふことと全然同じであります。

C. 鋼管 それからパイプであります、パイプに付きましては獨逸には矢張り此鐵鋼聯合會の分身であります鋼管聯合會と云ふものがありまして、鐵鋼聯合會の一部門と見ても宜しうございます、會社になつて居りまして、其會社が總エージェントになつて居りますから、此會社が國內に向つて全部買つてしまふ、さうして外に向つて販賣する、さう云ふ組織を以て國際鋼管組合に這入つて居ります、それから白耳義、佛蘭西、ルクセンブルグの間には國境を超越した一つの販賣會社があります、エフ・ビー・エス鋼管組合……フランス・ベルジウム・サーカス……と申して居ります、此3箇國に澤山製造會社があります、それらは皆こゝへ總エージェントの便宜を與へてありまして、國家のやうな命令權に依つて作業するのであります、英吉利は私が行つた時分には組合が出来て居りませぬ、最近どうなりましたか、其後情報がありませぬが、英吉利では5大會社が三井、三菱と云つたやうな銘々の名に於て這入つて居ります、其の中最後の組合はそれらのアウトサイダーを代表して這入つて居りますから、英吉利の場合は右5つの會社の名に依つて全工場が參加して居るわけであります、亞米利加も亦參加して居ります、此國際組合の如きも非常にうまい統制が取れて居りまして、是は我々の目から見れば思ひ切つた横暴振を發揮します、此組合を造る前と云ふものは獨逸の如きが盛に安いパイプを造つて英吉利本國を攻撃した、佛蘭西の如きは亞米利加のカリフォルニアとかサンフランシスコ、あの邊の油田を目がけて攻撃して、英吉利と亞米利加がたまらなくなつてしまつた、そこで此組合が出来まして、銘々に矢張り各國の割當を持つて居る、さうして南アフリカの喜望峰植民地、あの邊などはまあ英吉利の一番良い御得意なのであります、英吉利があすこに工場を造らうとして居る、そんな工場を造るならば御前の本國を荒らすぞと獨逸が言ふ、それで漸く妥協が出来まして、獨逸から南アフリ加に年額何萬噸の輸出を認めるから、英吉利の本國を衝くのだけやめて呉れと云ふことになりました、又亞米利加に付ては歐羅巴に送り出すのをやめるから歐羅巴からカリフォルニアを衝くのをやめて呉れと云ふやうに領土分割をやつてしまひました、今の所此組合は非常に圓滿であります、最近何だか獨逸の邊で不平が起きて少し改造されるのぢやないかと云ふ噂がありますが、併し何等の理由なしには改造さるべき施設とは思はれませぬ。

D. 鐵力 それから鐵力であります、是は英吉利にはサウスウエールズのティンプレートの製造組合が出来て居ります、亞米利加ではユーエス・コンサーン、ベスレーム・コンサーンの聯合が他のコンサーンを率ゐて一つの統制を試みて居ります、英吉利組合と亞米利加組合との間の協調と云ふものは相當古くから協定があつたやうでございます、それで世界の輸出の内の7割は英吉利が持ち、3割だけは亞米利加が持つ、値段はきつちり契約して相侵さない、但し日本市場だけは大體に於て亞米利加に譲ると云ふ意味に於て日本だけは自由競争にして置かう、こんなことを言つて居つた、併し倫敦と

紐育の間は電話で初中通話の出来る間柄でございますから、例へば日本の石油會社、製罐會社と云ふものが見積を出す、三井や三菱が争うて途中で大いに儲ける、儲けて分け前をしたり色々なことをする英吉利が高い、亞米利加が安いと大騒ぎをして居る、向ふでは亞米利加組合と英吉利組合と英米協定が出来て居ります、私が之を素破抜いてから少し上がりましたが、英米協定が出来て居りまして、多少多い注文であれば是は御前の方にやる、是は俺の方で取る。すつかり打合をやつた上でなければ値段を出しはしない、最近1年ばかり日本の問屋さんなどは亞米利加は横暴で困る。だから英吉利の製造家を少し持上げて安く買はうぢやないかと云つたやうなことを言ふ、直ぐにもう英吉利組合が亞米利加組合に電話をやる、こんなことを言つて來て居るから、日本の自由競争をやめやうぢやないか、御互に協定してやらうと云ふことになつて、どうも手も足も出ない、天下に2人しか無いのですから……、其外に年額 15,000 噸の八幡製鐵所あるだけで、石油會社や製罐會社がいくらちたばた踏んだつてどんなにしたつて駄目です。

時間が無くなりましたから、重なるものだけにして是だけでやめて置きます、

E. 國際鋼塊組合と國際注文分配事務所 最後に國際鋼塊組合、それから最近に成立した國際注文分配事務所の話ですが、今までは、ワイヤーロウド、鋼管、レール、鍼力と云ふやうに品目別に申上げて行きましたが、其外のバーとか、アングルとか、ジョイントとか、半製品とか、さう云ふものに付きましては個々の統制組織はなく總括的に所謂國際インゴツト、シンデゲートの統制に服して居ります、前に述べました、ヘルバント、ウグレー、プロビデンス、コルメタ、佛蘭西組合等歐大陸諸國の各組合は抑々の初が生産協定から出發した組合であつたのですが、それらのものが又中央に集つてジュツセルドルフに中央事務所を持ち此等の諸國が今後半箇年なり3箇月間に生産すべき鋼塊の數量を協定して居ります。御前の國は幾ら、御前の國は幾らときつちり決めてしまふ、其割當を貰つた例へば獨逸ヘルバントは國內に對して御前の會社は幾ら、御前の會社は幾らと決める譯であります、私が今まで申上げた製品以外のものに付きましては斯くの如く鋼塊の數量を制限することに依つて間接的に生産の調節と賣價の維持が試みられて居るのであります、然し此の方法に於ては賣價の維持を目的とすると云ひながら賣價には一つも觸れて居らない、生産の協定をするのだと言つて置きながら罰金さへ拂へば幾らでも造れると云ふやうなことになつて居るので、どうも所期の目的が達せられなかつた、しかのみならず獨逸の如き合理化の進むに従つて生産數量が著しく増加し組合に支拂ふ罰金は相當の額に上つて、現物賠償と共に獨逸の重荷の一つとなつて參りました、此の不平は會合の度毎に問題となつて鋼塊組合は臆ては潰れるのではあるまいかと云ふやうな憶測さへ屢々傳へられたのでありましたが、案の定此 2.3 箇月前頃から段々討議が白熱して參りまして遂にバー、ジョイスト、アングル、鋼板、帶鐵及び半製品の夫れに就て最低値段を協定し、且つ此等製品の販賣統制を目標として大陸注文分配事務所と云ふものを作り上げました。大陸注文分配事務所と云ふのは讀んで字の示す通り、集められた注文を分配する事務所、即ち注文の集配に依つて販賣を統制し生産を監理する中央機關であり

ますが、今の處、まだ其處まで完全なる機能を發揮してゐる譯ではありません。寧ろ共販組合の前提とも見らるべきもので、各國は各自に註文を収集し、各個に契約を締結致します、只各國は註文分配事務所より與へられた一定の割當を有し、註文が其の割當以上に達した場合、初めて同事務所は活動を開始して、一國の過剰註文を他國の不足を補ふ爲に之に分與するのであります。従つて何れの國も割當に達することなき不況時に於ては何等の統制力もない譯であります、然し上述6種の製品に就ては鋼管や軌條の如き何等の統制施設もなかつたし僅かに大陸鋼塊組合に依る間接的統制はありましたが——此の分野に斯る機關が生み出されたと云ふことは、たしかに一進歩を劃したもので、其はやがてより有效なる共販組合の成立が近き將來に於て實現せられることを約束してゐるものと見て差支ありません。扱て此の統制分配事務所の統制に服してゐる國は大陸鋼塊組合の顔ぶれと同じでありまして獨逸、佛蘭西、白耳義、ルクセンブルグ、それにザールの5ヶ國たゞ中歐團だけが之に加入しませんでした。而して最近に於ける其の活動振りを見ますに第一に各品目に付ての最低値段の協定は相當強く守られて居るやうでございます、例へばバーに付て2月13日には5ポンド5シルと云つたやうな數字はきつち守られて決して違反者が無いやうございました。第二に註文の分配であります最近白耳義の工場がとかく註文不足を告げて、工場は全能力を到底發揮出來ず、閑散に苦しんでゐましたので、獨逸、ルクセンブルグ、佛蘭西の各工場の製品を一定期間賣止め致させました。斯くの如くして初め決めました割當に近い數字を各國が保有し、其保有したる數量の賣價を維持して行こうと云ふのでありまして、是は臆てイルマのやうな、或はもう一步進んでワイヤーロード位の所までに發展して行くのぢやないかと思ひますけれども、漸く活動を開始して1箇月になつたかならぬかと云つた位の程度でありますから、其後の情報を見なければ分りませぬが、とに角更に一層實用的な、さうして効果のあるものになつて來るのぢやなからうかと考へて居ります、隨つて此國際分配事務所が出来まして以來我々の手許に参ります國際外送値段が釘附になりました、ちつとも動いて居りませぬ、日本に於ては統制が取れませぬ爲に輸出値段が85圓と云ふ場合に八幡製鐵所が75圓で賣らなければならぬと云つた實情を見るにつけ、彼等の統制振に比較しましては聊か我々忸怩たらざるを得ないのであります。

大體統制組織の大要はこんなものでございますが、尙ほ私最近書きました本に詳しいことは少し書いて置きましたし、其後の情報を綜合しまして其都度其都度色々新しいことは洩れなく集めて居る積りでございますが、今後共何か御質問でもありましたら私共の所まで御知らせ下さいませれば出來得る限り御話申上げることが出来るだらうと考へて居ります。

どうも先輩諸兄を前にして口廣幅つたい講演を致しまして甚だ恐縮に存じます、長い間の御清聽を感謝いたします。〔拍手起る〕